社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和05年01月25日

計画の名称	大和町における区画整理事業による新たな社会資本整備													
計画の期間	令和０５年度　～　令和０９年度　(5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	大和町													
計画の目標	本地区は、当町の中心市街地の西部に位置し、仙塩広域都市圏の北部地域を結節する重要な路線となる都市計画道路北四番丁大衡線が配置されている。また中心市街地を東西に結ぶ都市計画道路吉岡吉田線も計画されており、幹線道路の整備と一体となった工業・流通業務地の形成を目指している。そのため、北部地域の骨格となる幹線道路等公共施設の整備を図るとともに、本町の目指す工業・流通業務地の形成を一体的に推進する健全で良好な新市街地の形成を図る。また、本地区の整備では既存市街地との連結を図る形で住宅地が形成され、今後DID地区の拡大も見込まれることから、今回の市街地整備にあたり、既存市街地に近接する位置に公園等の都市基盤施設の整備を図るとともに、商業施設の誘致を計画することにより、既存市街地の生活利便性向上にも資するものである。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	971	A	971	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R05年度当初	R07年度末	R09年度末
1	・吉岡西部地区の工業・流通業務用地の使用収益率を0.0%（R05年度当初）から24.1%（R09年度末）に増加			
	吉岡西部地区の土地区画整理事業により創出される工業・流通業務用地の使用収益開始面積(ha)/同全面積(ha)を測定する。	0%	6%	24%
2	・吉岡西部地区に近接する既存市街地（吉岡・吉岡東地区）の居住満足度を21.0%（R05年度当初）から25.0%（R09年度末）に増加			
	居住者アンケート調査により吉岡・吉岡東地区の居住者意向から「住みやすい」と答えた割合を測定する。	21%	21%	25%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

・（第5次総合計画（R4年度～R13年度）（令和4年3月策定））に基づき実施される要素事業：A全て　・（【都市計画マスタープラン（H22年度～R4年度）（平成22年9月策定）に基づき実施される要素事業：A1全て

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	大和町	直接	大和町	－	－	仙塩広域都市計画事業 大和町吉岡西部土地区画整理事業	都市再生区画整理　30.4ha	大和町	■	■	■	■	■	971	1.43	－
											小計						971		
											合計						971		

案件番号：

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R05	R06			
配分額（a）	96	43			
計画別流用増△減額（b）	0	0			
交付額（c=a+b）	96	43			
前年度からの繰越額（d）	0	40			
支払済額（e）	56	48			
翌年度繰越額（f）	40	35			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額（h = c+d-e-f）	0	0			
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

案件番号：

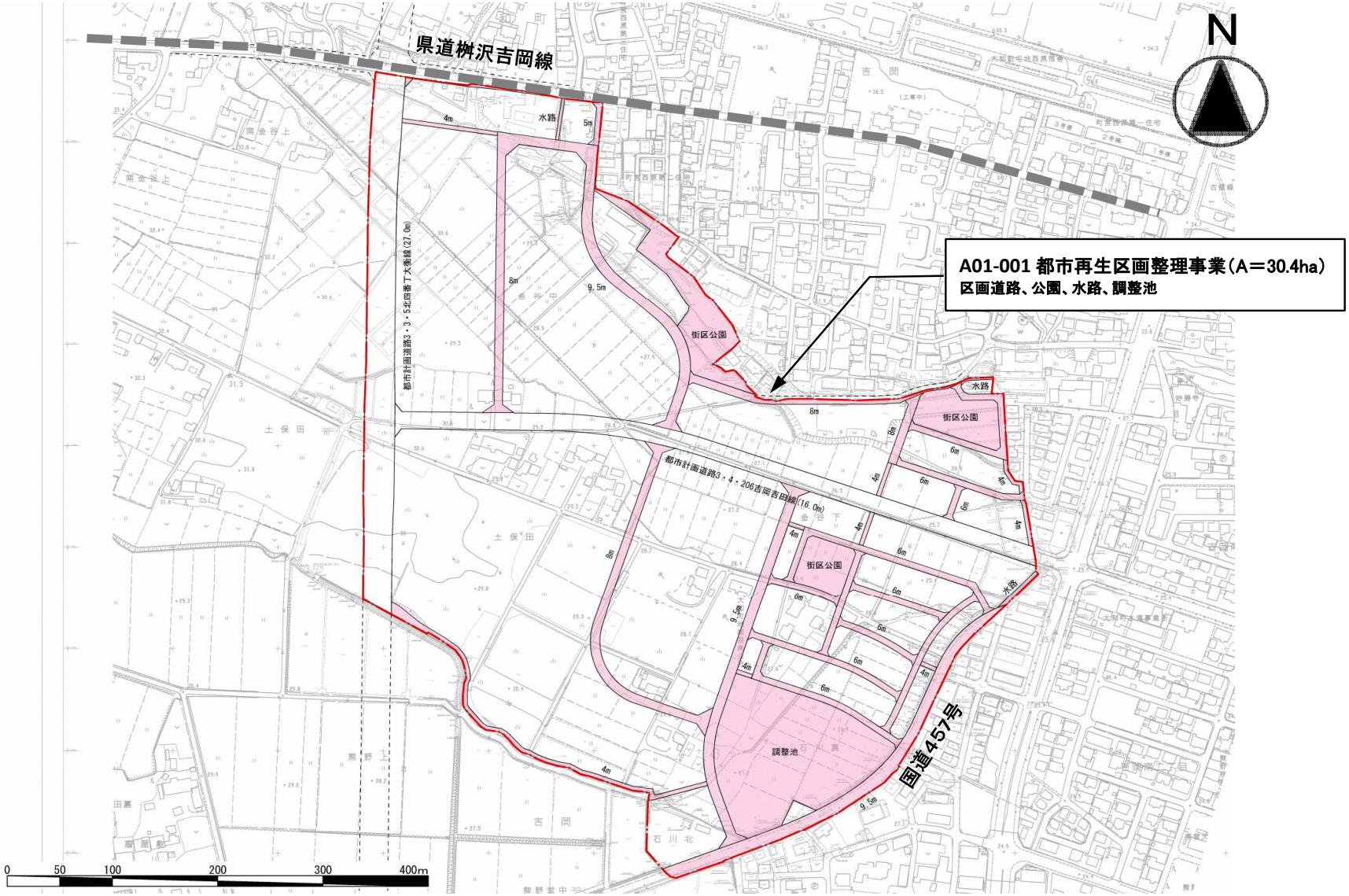
事前評価チェックシート

計画の名称： 大和町における区画整理事業による新たな社会資本整備

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①上位計画との整合等　１）上位計画等との整合性が確保されている。（整合を図っている上位計画名：第五次総合計画（令和4年3月策定）、都市計画マスタープラン（平成22年9月策定））	○
I.　目標の妥当性 ①上位計画との整合等　２）広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
I.　目標の妥当性 ②目標の客観性・具体性・地域性　１）数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I.　目標の妥当性 ②目標の客観性・具体性・地域性　２）地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　１）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　１）十分な事業効果を得られることが確認されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　２）他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境　１）計画・事業の熟度が十分である。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境　２）事業実施のための環境整備が図られている。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境　３）計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○

案件番号：

（参考図面）市街地整備

計画の名称	大和町における区画整理事業による新たな社会資本整備		
計画の期間	令和 5年度～令和 9年度	交付対象	宮城県大和町

社会資本総合整備計画